

企業間電子取引システム第二弾

インターネットを用いた企業間電子取引の新しいプラットフォームを提供するインテックのB2B-iX事業。受発注等のデータ交換をインターネットを用いて安全確実に、また、業界を越え、異なる業種の企業同士の情報交換も可能にする。

第一弾としてすでに「EDI-INT AS2」など国際標準のビジネスプロトコルに対応したインターネットEDIソフト「B-iXServer」をリリースし、昨年より販売を開始している。

商談など非定型な業務プロセスのコミュニケーションを支援

B2B-iX事業の第二弾として開発を進め、本年1月よりパッケージとして販売を開始するのが、商談など非定型な業務プロセスのコミュニケーションを支援する「C-iXServer」キックスサーバだ。

商談では、例えば商品案内や、見積もり、納期などの取引条件の決定をはじめ、さまざまな情報が担当者間でやりとりされる。一般には面談、メール、電話やFAXなどが用いられているが、「C-iXServer」ではWebベースでこれらの情報を交換・共有する。

「B-iXServer」がシステムとシステムをつないで受発注などの定型・定期的な業務プロセスを支援するのに対し、「C-iXServer」はその前工程である商談プロセスなどにおいて、人と人とのコミュニケーション、情報共有をIT面から支援するものといえる。

自分専用のWebページでセキュアに

「C-iXServer」では、関係各社がそれぞれ自社(自分)専用のWebページを持ち、コンテンツの登録や閲覧をする。利用ユーザーごとに各コンテンツへのアクセス権が設定されるため、必要な人だけが必要な情報にアクセスすることができる。

例えば、A社の営業担当者が自分のWebページで販売企画のコンテンツを登録する。その際にパートナー企業X社にだけ知らせるといつセキュリティ設定をするか、X社のWebページにのみ表示され、Y社やZ社には表示されない。また、Y社が見積依頼を各社向けに登録するに際してA社、B社、C社がそれぞれY社向けに見積結果を登録した場合、Y社では3社の見積もりを見ることができ、A社、B社、C社はお互い見積もりを見ることができない。情報交換にeメールは使用しないので、誤送信などの心配も不要である。また、掲示板機能を用いて複

サービス紹介

ビジネスの原点である、人と人との関わりをサポートする

企業間コラボレーションサーバ

キックスサーバ
C-iXServer
Collaborative Information eXchange Server

Webページで情報の発信と共有化を進める

ビジネスパートナーとのきめ細かな情報共有や連携はビジネスを行う上で欠かせないもの。インテックのC-iXServerは各自が専用のWebページを持ち、インターネットを通じてお客さまへの情報発信や取引先との情報交換を行うシステムだ。セキュリティ設定に従って必要な人だけにのみ情報が表示されるためeメールを用いるよりも安全に確かな情報のやりとりができる。

お問い合わせは 株式会社 インテック ネットワーク営業部 TEL(03)5665-5026



情報共有をはじめ、個別のきめ細かな情報提供によるサービス向上と関係強化を図ることができ、すでに昨年3月より、日用品化粧品業界VANPラネットの「バイヤーズネット」で基盤システムとして利用されている。(図2)

アイデア次第で広がる利用シーン

「C-iXServer」は企業間の商談情報のやりとりだけでなく、コミュニケーションに関するさまざまな分野で利用することが可能だ。

例えば、グループ企業間の情報交換をはじめ、研究グループ相互の情報交

換複数企業による大規模プロジェクト、環境や食の安全に関する原材料調達先との製品・技術情報の交換、代理店・特約店との販売情報・マーケティング情報の交換など、業界・業務を問わずアイデア次第で人と人とのコミュニケーションを高度なセキュリティを保ちつつ支援する。

インテックは今後「C-iXServer」を自社内の共通開発プラットフォームとして使用する中で、「C-iXServer」をベースとした各種アプリケーションの充実を図り、お客さまにより高機能で使いやすいサービスの提供をめざしていく。

プラネットのバイヤーズネット

メーカー・卸売業・小売業間のマーケティングや販売促進業務を支援する情報提供サービス。「購買、販売促進業務の効率化」という共通の目的のためにシステムを共同利用することで、流通業全体のコスト削減を目指している。

インターネットを利用し、商品情報や市場状況などの情報を提供するほか、特定の相手先と企画提案や見積もりなどの情報交換ができる。すべての情報は一つのユーザーIDで利用でき、システムを共同利用しても、使う人にとっては自社(自分)専用のページが用意されており、そのページには自社(自分)向けの情報を集約することもできる。

バイヤーズネットは、メーカー・卸売業・小売業の関係者であれば誰でも利用可能で、基本情報の閲覧はすべて無料である。



図2

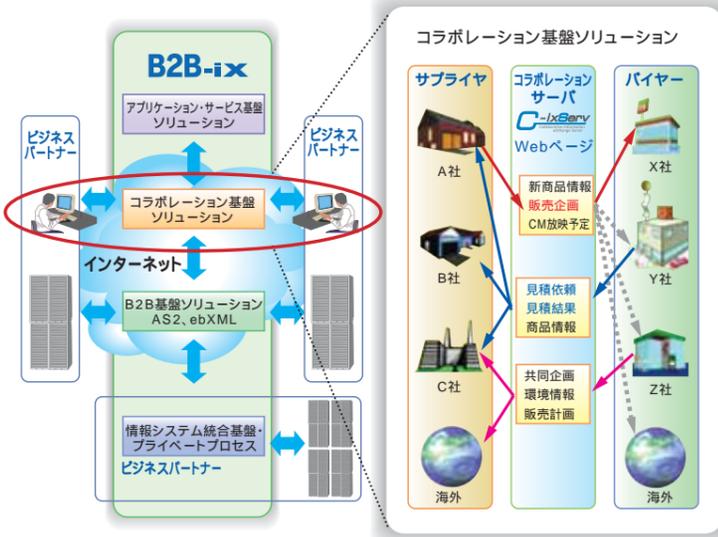


図1